



◆当面する重点作業

1. 高温により果実の日焼けが多く発生している。葉摘みや支柱立ては果実温が十分に上がった午後から実施する。また、徒長枝の切りすぎや葉の摘みすぎに注意する。
2. スモモヒメシンクイの被害が発生し始めている。8月は防除間隔を空けず定期的に防除する。被害果がある場合は適切に処理を行う。
3. 早生種の収穫を適期に行う。早獲りしないよう食味を確認してから収穫を始める。
シナノリップは、地色が黄緑色で収穫する。
サンつがるは、前半は着色したものから収穫し、後半は地色が抜ける前までに収穫を行う。
4. 中生種への落果防止剤の散布と、樹相に合わせた中生種の着色管理を行う。
5. 定期的にかん水を実施する。特に排水が悪かった園は根が弱っているため、高温が続いた場合は早めにかん水を行い樹の保護を図る。
6. 鳥害対策を工夫して行う。シナノリップなど特に着色の良い品種は重点的に対策を図る。
7. 炭そ病の果実病斑が見られたら、採って土中に埋める。

◆第12回薬剤散布について

1. 散布日：8月12日(土)～16日(水)

収穫中の品種には今回散布は行わない。ただし、散布しても散布後24時間経過すれば、収穫可能

2. 調合量：水1000ℓ当り ※混用順に記載

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前/使用回数
展着剤	10mℓ	—	—
アーデントフロアブル	50mℓ	シンクイムシ類・ハマキムシ類	前日/年3回
アリエッティC水和剤	125g	黒星病・斑点落葉病・すす斑病・すす点病・炭そ病	前日/年3回

3. 散布量：10a当り⇒500ℓ以上

4. 散布上の留意事項

①必ずアーデントフロアブルを溶かしきってから、アリエッティC水和剤を混用する。

②果面の汚れ軽減のため、通常展着剤に代えて、展着剤ササラ3,000倍（水100ℓ当たり33mℓ）を使用してもよい。

③雨が多い場合は、通常展着剤に代えて、固着性展着剤アビオンE1,000倍（水100ℓ当たり100mℓ）を使用してもよい。なお、汚れるがあるため、収穫が近い品種には使用しない。

④アリエッティC水和剤は、桃・ネクタリン・野菜に飛散しないよう注意する。

⑤ハダニ類の発生が多い場合は、ダニオーテフロアブル2,000倍（水100ℓ当たり50mℓ）を加用散布してもよい。

⑥スモモヒメシンクイの発生が見られる園は散布間隔を10日にし、前回散布との間隔が空き過ぎないように注意し、丁寧に散布する。特別散布を行う場合は果樹技術員までご相談する。

◆落果防止剤のストッポール液剤(収穫25日～7日前まで)散布について

1. 調合量と散布日 展着剤は加用しない。

対象品種	水1000当り調合量	散布時期目安	実際散布日
シナノドルチェ	66ml	8月15日(火)～8月21日(月)頃	月 日
紅玉	83ml	8月15日(火)～8月21日(月)頃	月 日
秋映	83ml	8月24日(木)～8月30日(水)頃	月 日
陽光	83ml	8月24日(木)～8月30日(水)頃	月 日

2. 散布量：10a当り⇒500ℓ

3. 留意事項

- ①シナノドルチェは収穫15日前頃、紅玉は収穫25日前頃を基本とする。
- ②土壌が乾燥していると効果が低下する。乾燥している場合は、かん水を実施してから散布する。
- ③単用で1回(朝か風の無い夕方)散布とする。農薬散布とは1日以上間隔あける。
- ④乾燥しやすい園地は生理落果が早まる場合があるので、早めの散布とする。
- ⑤散布対象以外へ飛散しないよう、手散布で果実及び果そう葉を中心に丁寧に散布する。
- ⑥落果防止剤は、水道水を使用する。

◆心かび果(心腐れ果)対策について

シナノスイート・シナノドルチェは心かび病の発生が多い。収穫前での対策として、樹上での選果・除去が必要となる。シナノドルチェは8月中旬頃より、シナノスイートは9月初旬頃からを目安に実施する。大玉の果実を中心に着色が著しく進んでいる果実・地色の黄化が早い果実は、樹上で除去する。

《栽培に関する問合せ》

寺澤(情報担当・篠ノ井西部・信田)：080-1188-5229/外谷(篠ノ井東部)：080-8048-6602

松橋(松代)：090-4816-6297/佐藤(川中島)：090-7179-9866

根津(更北) 080-1203-8576/松澤(若穂) 080-1191-5166

吉澤(全域・編集担当)：090-2543-0365/営農販売部(本所)：292-0930

○果樹のアドバイザー(流通センター長兼務)

※センター繁忙期になるため、電話をとれない場合がありますが、ご了承下さい。

伊藤(篠ノ井東部) 080-2239-6816/松坂(篠ノ井西部) 080-1188-4131

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所/営農販売部(本所)：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部/農業資材課：299-3311